

第70回春季広島県高等学校軟式野球大会
兼 第37回春季中国地区高等学校軟式野球広島県予選大会要項

1. 名 称 第70回春季広島県高等学校軟式野球大会
兼 第37回春季中国地区高等学校軟式野球広島県予選大会
2. 主 催 (一財)広島県高等学校野球連盟
3. 後 援 広島県教育委員会、呉市・廿日市市・北広島町及び各市町教育委員会
4. 期 日 令和7年4月12日(土)～4月27日(日)
1回戦 4月12日(土) 2回戦 4月13日(日)
準決勝 4月26日(土) 決勝・3位決定戦 4月27日(日)
<予備日4月19日(土)20日(日)5月10日(土)11日(日)>
5. 会 場 1回戦：2回戦 千代田運動公園野球場・虹村公園野球場
<予備会場4月19日 千代田運動公園野球場・虹村公園野球場>
準決勝：決勝・3位決定 佐伯総合スポーツ公園野球場
<予備会場5月10日 バルコム球場 11日未定>
6. 参加校 10校
7. 試合方法 (1) トーナメント方式により行う。
(2) 得点差によるコールドゲームは5回以降10点、7回以降7点差以上とする。
ただし決勝戦は除く。
(3) 延長10回以降はタイブレーク制(無死一塁・二塁の継続打順)を実施し、15回を終了し決着していない場合はそのまま試合を続行する。
ただし、1人の投手が登板できるイニング数については15イニング以内を限度とする。
(高校野球特別規則23)
(4) 天候状態などで球審が試合の途中で打ち切りを判断した場合は、行われた回数に関係なく、翌日以降に勝敗を決する(通常は9回、延長戦ならびにタイブレークになった場合も含む)まで継続試合として試合を行う。(高校野球特別規則23)
(5) 1人の投手が投球できる総数は1週間500球以内とする。
(高校野球特別規則28)
(6) 照明施設がある球場では、ナイターを行うこともある。
(7) 日程変更のときは球場の変更もある。
8. 試合規則 令和7年度公認野球規則、アマチュア野球内規、高校野球特別規則、広島県高等学校野球連盟試合細則及び注意事項による。
9. 選手資格 日本高等学校野球連盟令和7年度大会参加者資格規定による。
10. 試合球 (一財)広島県高等学校野球連盟使用球(ケンコーボールのM号)
11. 参加人数 責任教師・監督・記録員各1名・選手20名以内
12. 審判委員 広島県高等学校野球連盟審判部
13. 表 彰 優勝校には賞状・優勝旗、準優勝校と3位校には賞状を授与する。
(前年度優勝校にはレプリカを贈呈)
14. 申込参加 <申込期限> 令和7年4月3日(木) 正午(厳守)
15. 抽 選 会 令和7年2月12日(水) 広島県立広島高校
16. 優勝旗返還式 前年度優勝校(崇徳高校)の試合前に実施する。

17. 選手変更 変更がある場合「選手登録変更届」(データ)を令和7年4月10日(木)正午までに事務局へPDF送信・必着をもってこれを認める。背番号のみの変更は認めない。公印を押した原本は試合日に持参し、メンバー交換時に提出する。試合日当時に急遽変更が生じた場合、管理職と必ず連携のうえ、公印が押されていない変更届を球場責任者に提出することを認める。
※感染症による変更の場合み、選手変更した者を再登録する場合、感染が確認されなければ、次試合から可とし、感染を確認すれば、原則として同規則第19条の出場停止期間を経過してからとする。
18. 事務局 〒734-0005 広島市南区翠1-1-1 広島大学附属高等学校内
広島県高等学校野球連盟 軟式部事務局 代表理事 西原 利典
19. 健康管理等
- (1) 出場選手の試合中の事故については、主催者で応急処置を行うが、それ以降は各学校の責任で措置すること。
 - (2) スタンドの関係者についても、注意喚起すること。
20. その他
- (1) 優勝校は、5月24日(土)から鳥取県米子市で開催される第37回春季中国地区高等学校軟式野球大会の出場権を得る。
 - (2) 1～3位校は、第70回全国高等学校軟式野球選手権広島県予選大会のシード権を獲得する。
 - (3) 責任教師・監督を変更する場合、変更届等提出先に変更届をPDF送信すること。
(試合当日、後日でも可)ただしコピーを毎試合必ず持参しメンバー交換のときに提示すること。
 - (4) ノック補助として背番号のない選手5名以内までグラウンド内に入ることを認める。
 - (5) メンバー交換は試合開始予定時刻の1時間前とし、責任教師は所定のオーダーシート5部を持参のうえ、主将及びテーピングが必要な選手を引率し、指定された場所で交換に立ち会う。
ただし第1試合は試合開始予定時刻の40分前とする。
 - (6) 第1試合のグラウンドづくりは第1試合に対戦する両チームで行う。そのためベンチ入り及びグラウンドへの入場可能時間は、試合開始予定時刻の1時間30分前とする。
 - (7) ボールパーソンは、原則、試合を行う両校の野球部員(最大3名)で行う。
*人員が確保できない場合は、不足分は他校から手配する。
その他、第1試合の大会補助員は第2試合の両チームで行う。第2試合は前の試合の2チームが試合終了後グラウンドを整備し、第2試合の大会補助員を行う。第2試合終了後の整備と片付けは第2試合の両チームで行う。
 - (8) 試合球(6球)、投手用ロジン(1個、両チームで共用)は連盟が用意する。
バッターが使用するロジンは各校で準備・使用すること。
 - (9) グラウンド整備は5回終了時、9回終了時に延長戦がある場合のみで行う。
 - (10) 大会期間中の練習試合について、今大会については特例で認める。